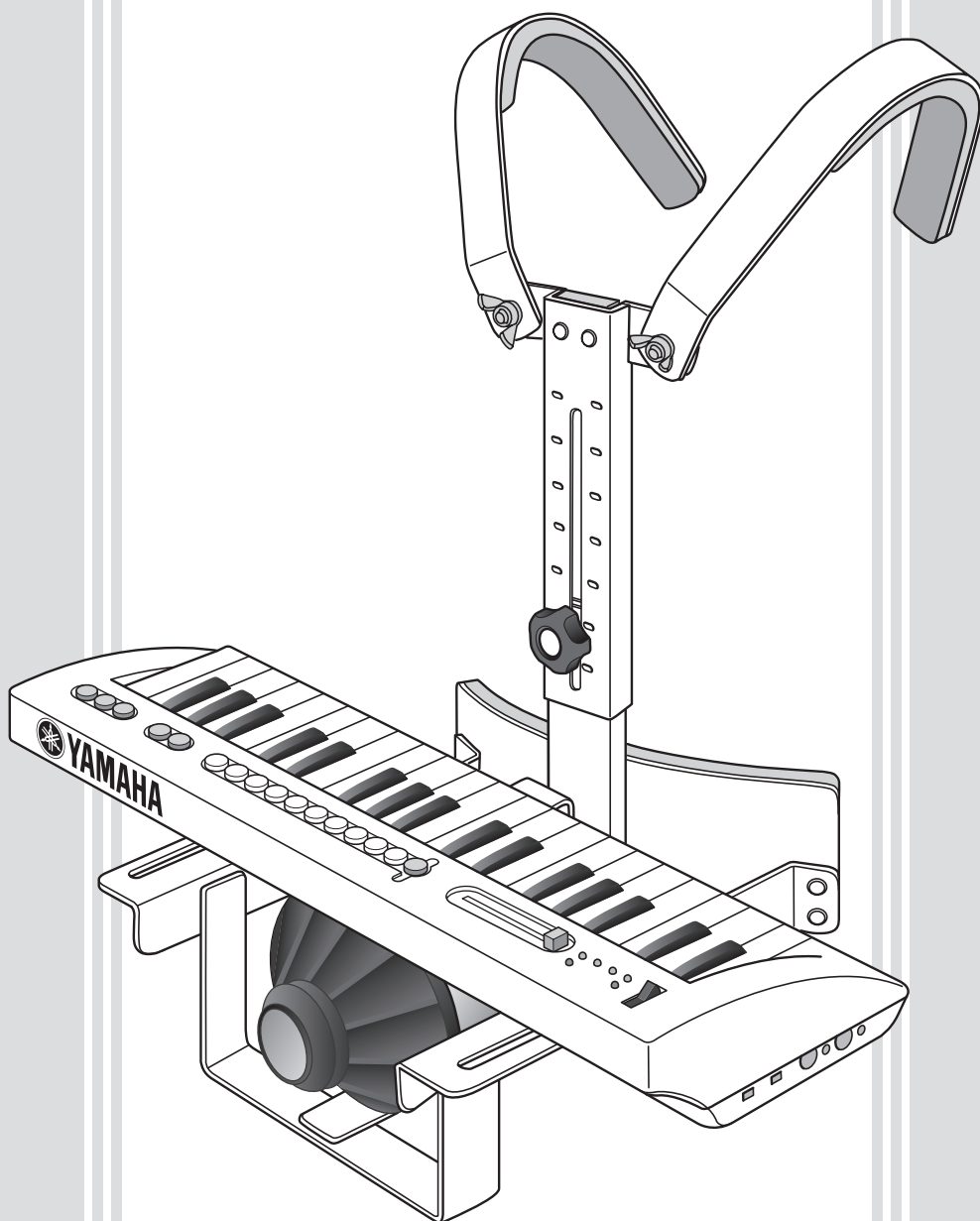




マーチングキーボード
YMK-90M/90S

取扱説明書



ごあいさつ

このたびは、ヤマハマーチングキーボードYMK-90M/90Sをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。YMK-90M/90Sは、様々なマーチング演奏に幅広く活用でき、園児・小学生の音楽活動の場を大きく広げるキーボードです。ご使用にあたってこの取扱説明書をお読みいただき、本機の機能を充分にご活用いただくとともに、末長くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。なお、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますよう、お願いいたします。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

△ 記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

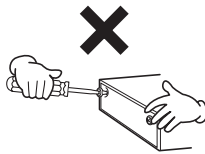
警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気が多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。



使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプタは、必ず指定のものPA-Y20を使用する。

異なった電源アダプタを使用すると、故障、発火などの原因になります。



手入れをするときは、必ず電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

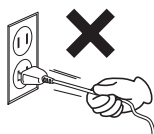
不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

⚠ 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

- ❌ 電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

- ❗ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



- ❌ タコ足配線をしない。
コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



- ❌ 電源コードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電、ショート、発火などの原因になります。

- ❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(1)にする。
感電または機器の損傷のおそれがあります。



- ❌ 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、またほこりや振動の多いところで使用しない。
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

- ❌ 不安定な場所に置かない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

- ❗ 本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

- ❌ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

- ❌ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ❌ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損する原因になります。

- ❌ 指定のホルダー以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷付けたりする原因になります。

- ❌ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

- ❌ 大きな音で演奏するときは、スピーカーに耳を近づけない。
聴覚障害の原因になります。

- ❗ 電源スイッチを入れるときは音量レバーを1にする。
聴覚障害の原因になります。

- ❗ キーボード取付ネジは位置を調節後、確実に締め付ける。
演奏中キーボードなどがはずれて落下し、お客様がけがをするおそれがあります。

- ❗ 高さ調節ツメが穴から出ていることを確認し、高さ調節ノブボルトをしっかりと締めた状態で使用する。
演奏中キーボードなどがはずれて落下し、お客様がけがをするおそれがあります。

- ❗ ホルダーの高さやキーボードの位置の調整は、大人の方が行なう。
キーボードなどが落下し、お客様がけがをするおそれがあります。

- ❌ ホルダー上部の肩掛けの回転には充分注意する。
ホルダー部と肩掛けの間に指などを挟んで、けがをするおそれがあります。

- ❌ ホルダー部や楽器はむやみに振り回したりしない。
ホルダー部はすべて金属でできています。お客様や他の人にぶつかって思わぬケガをすることがあります。

- ❗ 長時間使用しないときは、必ず電源を切る。

マーチングキーボードYMK-90M/90Sの主な特長

- **AWM音源による美しい音色を20種類内蔵**
メロディや伴奏などの幅広いパートで活用することができます。
- **ビブラート効果とサスティン効果**
音を揺らすビブラート効果と、余韻を加えるサスティン効果により、抑揚や広がりのある豊かな表現ができます。
- **3段階の音域切替**
音域切替スイッチにより、演奏音域をC1～C4(低)、C2～C5(中)、C3～C6(高)に切り替えることができます。
- **ピッチ切替スイッチ、移調スイッチ**
自然楽器とのチューニングを容易にするピッチ切替スイッチ(440/442/444Hz)と、楽譜の調に合わせて楽器の調を切り替える移調スイッチ(B♭/C/E♭)を装備しました。
- **高性能ホーンスピーカーを搭載**
パワフルでクリアなサウンドのホーンスピーカーの採用により、屋外や広い場所でも豊かで高品質なサウンドを得られます。
- **急速充電が可能な高性能バッテリー**
長時間の演奏が可能な高性能バッテリー(ニッケル水素電池)を内蔵しました。付属の電源アダプタにより、短時間で充電できます。
- **バッテリー残量がわかる4段階表示**
安心して演奏できるようにバッテリー残量がひと目でわかるような4段階表示にしました。

もくじ

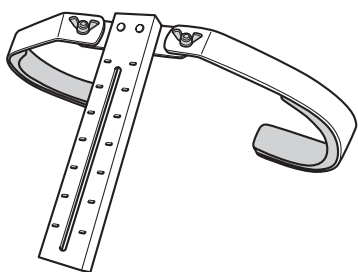
1. 部品の確認	5
2. 各部の名称と機能	6
キーボード側面(スイッチ、接続端子)	6
キーボード上面	7
3. ホルダーの組立と調整	8
ホルダーの組立と高さ調整	8
キーボードの前後位置の調整	10
肩掛けの取付	10
4. 充電のしかた	11
5. 音を出して演奏しましょう	13
演奏してみよう	13
電源アダプタを使って演奏してみよう	15
6. 付録	16
故障かな?と思ったら	16
仕様	17
保証とアフターサービスについて	18

梱包箱の中には、以下の部品や同梱品が入っています。
組み立ての前に、すべての部品や同梱品が揃っていることを確認してください。



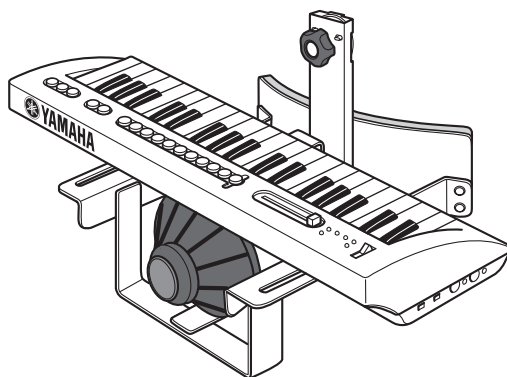
・部品が不足している場合は、お買い求めになったお店へご連絡ください。

● ホルダー上部



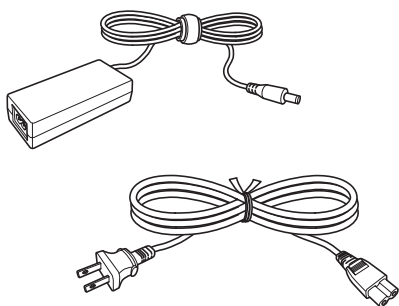
● ホルダー下部

(キーボード本体、スピーカー付き)



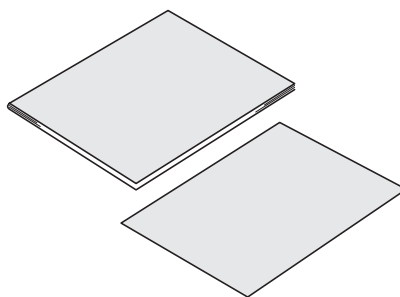
● 電源アダプタ

(アダプタ本体、電源コード)



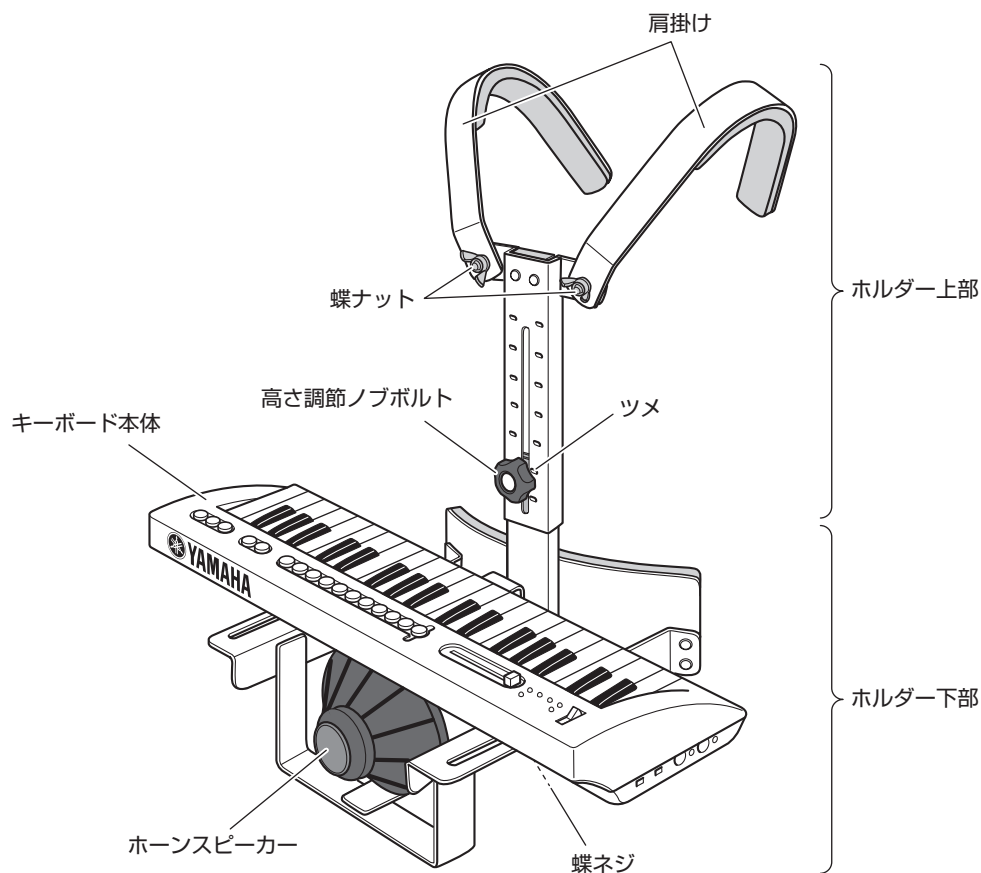
● 取扱説明書(本書)

組立方法/注意事項

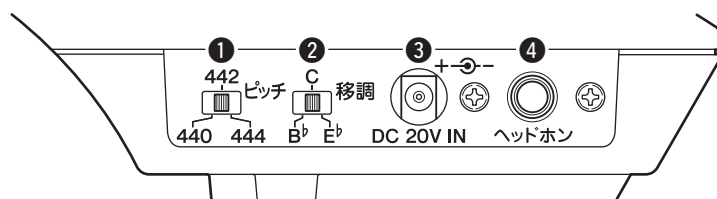


リサイクルについて

この製品には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換および、この製品を廃棄する場合は、ヤマハ修理ご相談センターにお申し付けください。



キーボード側面(スイッチ、接続端子)



① ピッチ切替スイッチ

自然楽器のチューニングに合わせて、3段階 (440Hz/442Hz/444Hz) の切り替えができます。

② 移調スイッチ

演奏する楽譜に合わせて、3種類 (B \flat /C/E \flat) の調に切り替えができます。

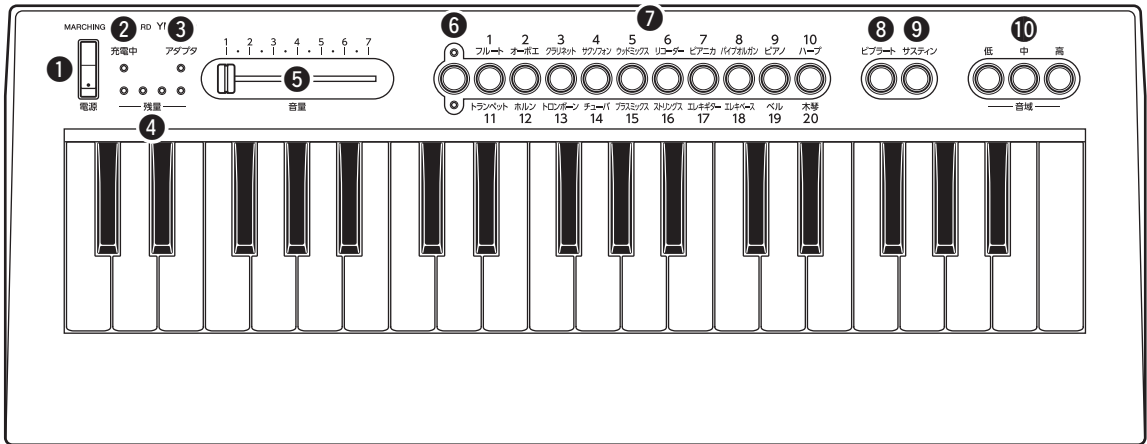
③ 電源アダプタ接続端子

専用の電源アダプタ (PA-Y20) を接続する端子です。

④ ヘッドホン端子

市販のヘッドホンを使用するとき、ここに接続します。ヘッドホンを接続すると、ホーンスピーカーから音が出なくなります。

キーボード上面



① 電源スイッチ

本機の電源スイッチです。スイッチの白丸印の部分を押すと、電源が入ります。

② 充電中ランプ

内蔵バッテリーの充電中に点灯し、充電が終了すると消灯します。

③ アダプタランプ

電源アダプタが接続されているときに点灯します。

④ 残量ランプ

内蔵バッテリー使用中は、残量ランプが点灯します。また、内蔵バッテリーの残量が少なくなると、残量ランプが点滅します。そのようなときは内蔵バッテリーを充電してください。(11ページ参照)

⑤ 音量レバー

音量を調節します。右に動かすと音量が大きくなり、左に動かすと音量が小さくなります。

⑥ 音色グループ切替ボタン/ランプ

音色ボタンの上下に書かれている音色グループを切り替えるボタンです。

ボタンが押されていないとき：

上のランプが点灯し、音色ボタン上段の音色(1：フルート～10：ハーブ)を選ぶことができます。

ボタンが押されているとき：

下のランプが点灯し、音色ボタン下段の音色(11：トランペット～20：木琴)を選ぶことができます。

⑦ 音色ボタン

上下10種類ずつ、20種類の中から音色を選ぶことができます。



・何もボタンが押されていないときは、選ばれている音色グループの1番左の音色が選ばれます。

⑧ ビブラートボタン

選んだ音色にビブラートを加えます。

⑨ サスティンボタン

選んだ音色にサスティン(音の余韻)を加えます。

⑩ 音域切替ボタン

鍵盤を押したときに鳴る音域を変えます。

低：音域全体が1オクターブ下がります。

中：標準の音域です。

高：音域全体が1オクターブ上がります。



・何もボタンが押されていないときは、「中」が選ばれます。

ホルダーの組立と調整

本機の組立や調整をするときは、平らな場所で大人の方が行なってください。
床やホルダーに傷を付けないために、床にじゅうたんや柔らかい布を敷いておくといでしょう。

注意! ・各部品を落とさないようご注意ください。

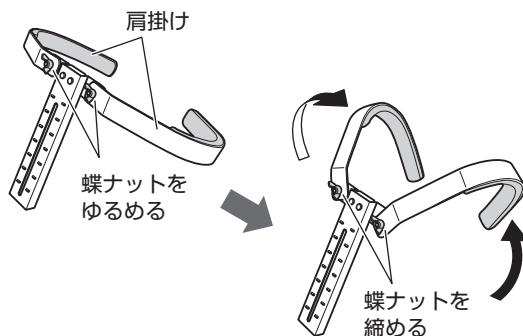
ホルダーの組立と高さ調整

1 ホルダー上部をセットする

蝶ナットをゆるめ、T字型に開いている肩掛けをイラストのように上に回転させます。
肩掛けの角度を決めたら、蝶ナットをしっかり締めて固定してください。

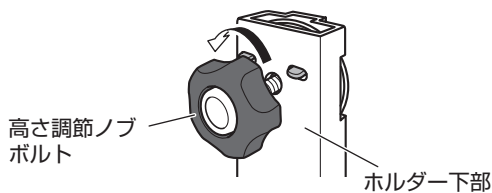
メモ ・肩掛けは取り外すことができます。

注意! ・肩掛けの回転部分で指を挟まないようご注意ください。



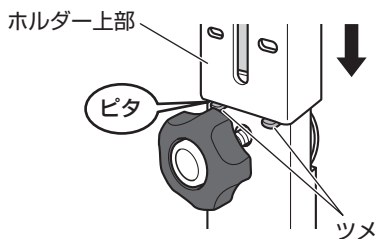
2 ホルダー上部/下部の組立と高さ調整をする

1 高さ調節ノブボルトをゆるめます。

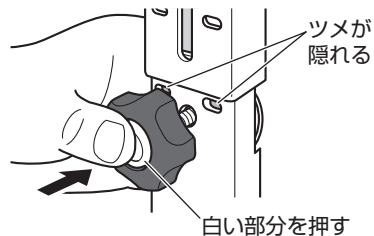


2 ホルダー上部を下部に差し込みます。
ツメに当たり、止まります。

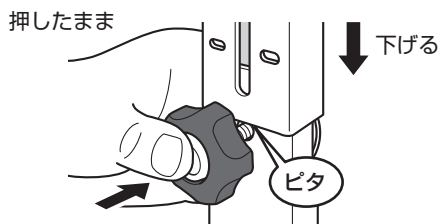
注意! ・ホルダー上部/下部の接合部分で、指を挟まないようご注意ください。



3 ノブボルトを押ししてツメを隠します。

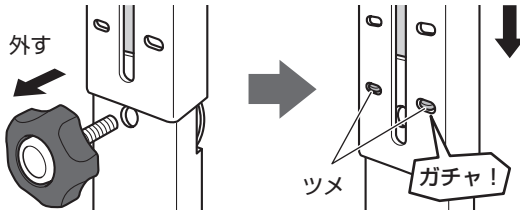


4 ノブボルトを押ししたまま、ホルダー上部を下げます。
ノブボルトに当たり、止まります。

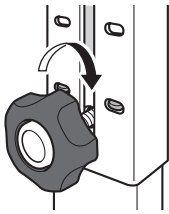


3. ホルダーの組立と調整

- 5 ノブボルトを外し、ホルダー上部の一番下の穴に、ツメが「ガチャ！」と出るまで差し込みます。



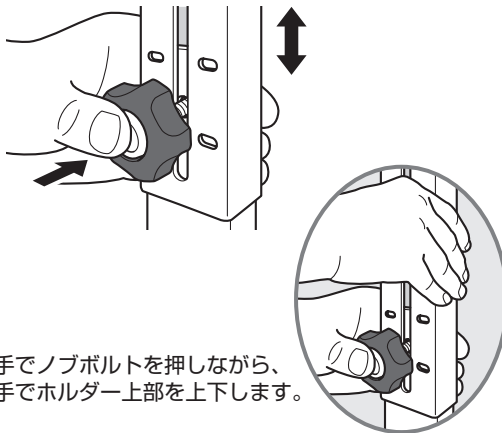
- 6 ノブボルトを取り付け、軽く締めます。
※この後で高さ調整をするので、ここではまだ強く締めつけません。



- 7 ノブボルトを押しながらホルダー上部を上げ下げし、児童の体に合うように高さを調整します。

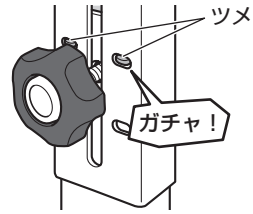


- ・ホルダー上部/下部の接合部分で、指を挟まないようご注意ください。



左手でノブボルトを押しながら、右手でホルダー上部を上下します。

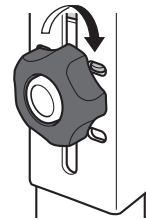
- 8 穴にツメが出る位置で、児童の体に合う高さに合わせてます。
高さは7段階で調整できます。



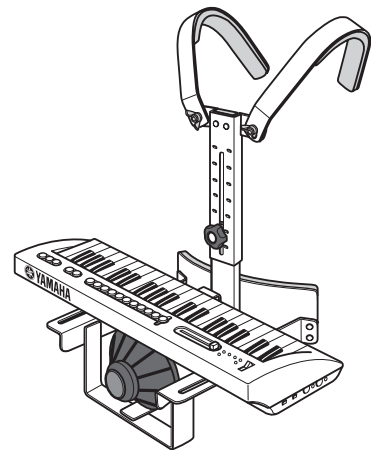
- 9 ノブボルトを締めて、しっかり固定します。
必ずツメが穴から出た状態で固定します。
ツメが穴から出ているか確認してください。



- ・穴から出ない状態では絶対に使用しないでください。また、ツメのない所でも止まるのでご注意ください。



- 10 これで組み立てが完成しました。



- ・ご使用前に各部のネジ等の欠品・緩みがないかどうか必ず点検してください。本体が落下するなど、ケガをする危険があります。
- ・肩掛けの取り付けや高さ調整は、児童に着用させた状態で行なわないでください。
- ・体から外して置くときは、静かに置いてください。また、転倒させないように注意してください。

3.ホルダーの組立と調整

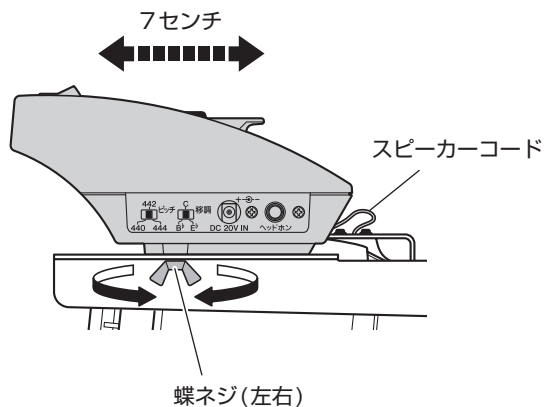
キーボードの前後位置の調整

キーボードの取付位置は前後に7センチ調整することができます。

キーボード下部にある蝶ネジ(2カ所)を半回転程度緩めて、キーボードを演奏しやすい位置に移動させたあと、蝶ネジを締めて固定します。



- ・ホルダーのスライド部分で指を挟まないようご注意ください。
- ・キーボードの前後位置の調整をするときは、キーボードの下のスピーカーコードを挟まないようご注意ください。



肩掛けの取付

別売の肩掛け(Mサイズ/Sサイズ)をお買い求めいただくことで、YMK-90M ↔ YMK-90Sとしてお使いいただけます。

お求めの際は、お買い上げ店へご依頼ください。

交換の際は、イラストのようにネジやワッシャーの順番を間違えないよう、正しく確実に取り付けてください。

●Mサイズ

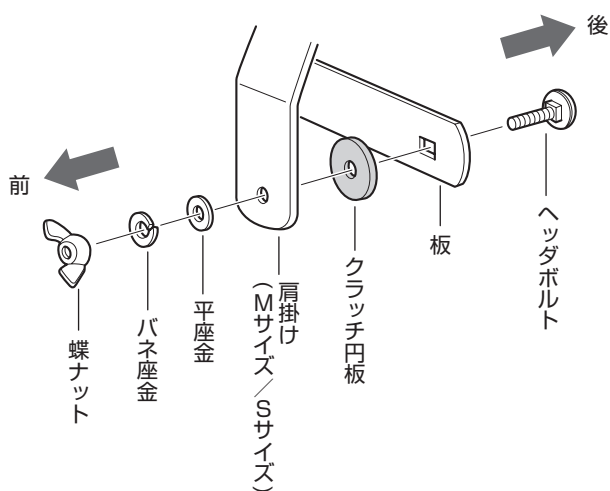
部品名称	部品番号
肩掛けASS'Y(M)	WW485500

●Sサイズ

部品名称	部品番号
肩掛けASS'Y(S)	WW485600

●取付部品

部品名称	部品番号
ヘッダボルト	WZ138400
クラッチ円板	378190X0
平座金	WF723600
バネ座金	WZ138300
蝶ナット	WZ138500



- ・取付部品は指定のもの以外は使用しないでください。
- ・取り付けた部品が違ったり締め付けが弱いと使用中に本体が落下し、ケガをする危険があります。

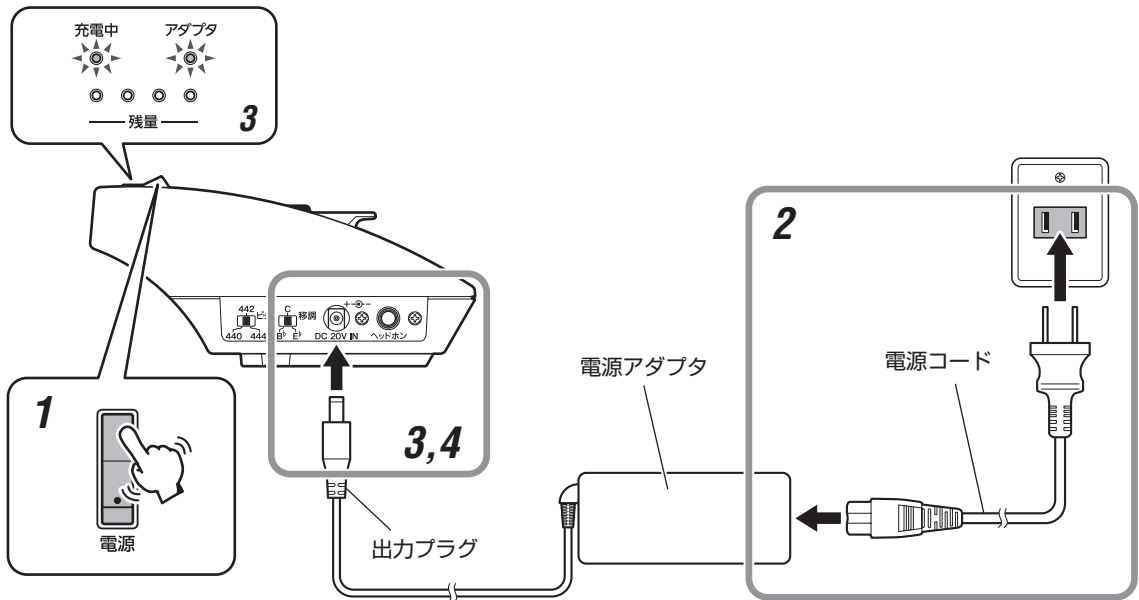
本機の内蔵バッテリーは、輸送時の事故を防ぐため充電されておりません。
はじめて使用される際は、必ず充電してからご使用ください。



- ・充電には必ず付属の専用電源アダプタ (PA-Y20) をご使用ください。他のアダプタの使用は、故障、発熱、発火などの原因になります。指定外アダプタ使用の場合は、保証対象外となりますので、充分にご注意ください。



- ・充電に最適な温度は25℃です。充電は温度が0℃～40℃の範囲内なら可能ですが、極端に寒い場所や暑い場所を避けて充電してください。



1 キーボード本体の電源スイッチを切ります。

2 電源アダプタと電源コードを接続し、電源コードのプラグを家庭用 (AC100V) コンセントへ差し込みます。

3 電源アダプタの出力プラグを、本体側面の DC 20V IN 端子に差し込みます。
アダプタランプと充電中ランプが点灯し、充電が開始されます。



- ・電源スイッチは切った状態にしておきます。電源が入った状態では充電されません。

充電は約一時間で終了し、充電が終了すると充電中ランプが消灯します。

4 電源アダプタの出力プラグを本機から抜きます。



- ・充電後、3時間程度連続演奏ができます。(音量を最大で、3音同時に鳴らし続けたとき)

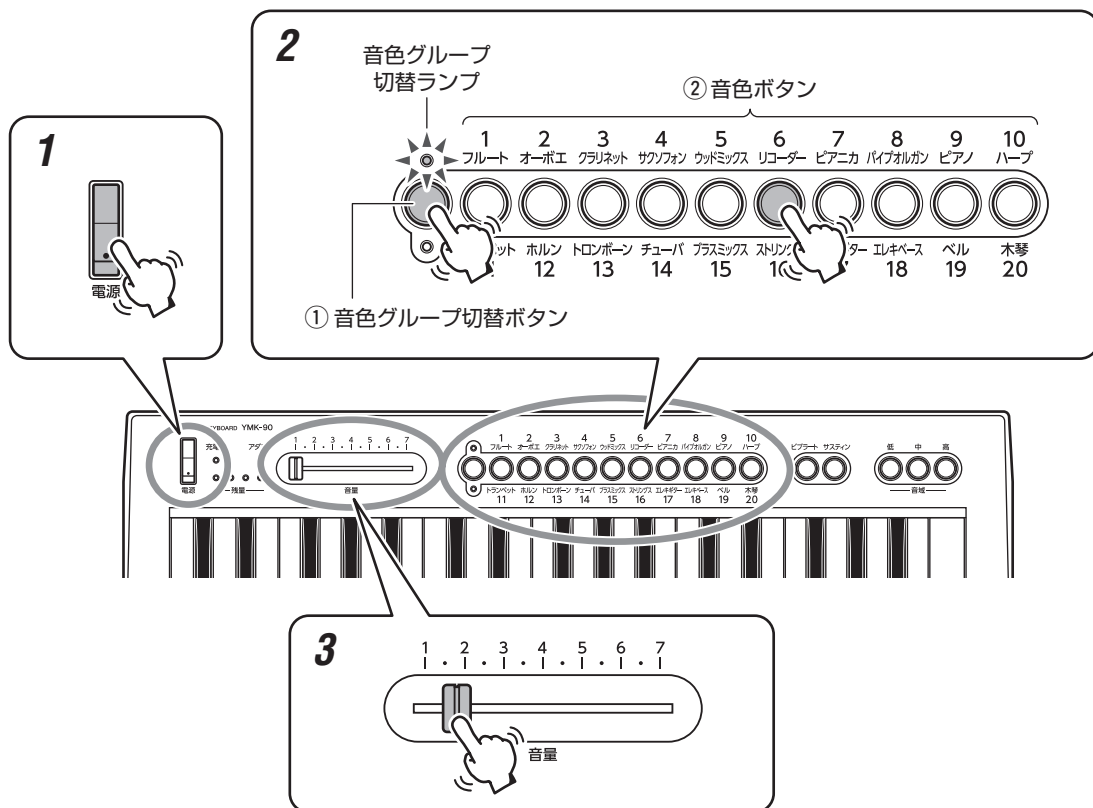
音を出して演奏しましょう

充電が終了したら音を出して演奏しましょう。



・電源を入れるときは、必ず音量レバーが「1」になっていることを確認してください。

演奏してみよう



1 電源スイッチを入れます。

残量ランプ、音色グループ切替ランプが点灯します。

2 音色グループ切替ボタン/音色ボタンを押します。

- ① 音色グループ切替ボタンで上段(1～10)番、下段(11～20)番を選びます。
- ② 音色ボタンで使用する音色を選びます。

3 音量レバーで音量を調節します。

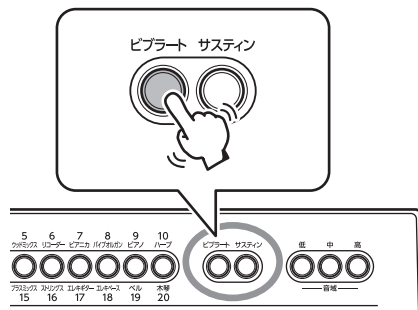
使用する場所や人数に合わせて調節してください。



- ・大きな音を出すときは、スピーカーの近くにお子様がないか確認してから行なってください。
- ・本機は1音で大きな音が出るように設定してあります。多くの鍵盤を押さえて音が割れたり、周囲がビリビリしたりする場合は、音量を小さくしてください。

5. 音を出して演奏しましょう

● ビブラートをかけてみよう

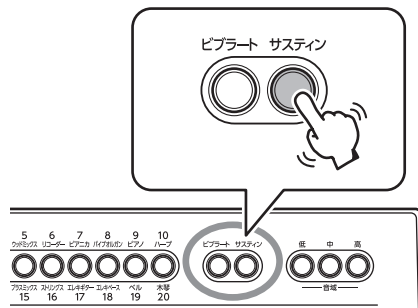


音色にうねりが加わります。音に抑揚をつけたり、厚みを付けたいときに使用します。



- ・ビブラートボタンを1度押すと押し込まれた状態になって「オン」、もう一度押すと「オフ」になります。
- ・音色によって、ビブラートのかかりかたが異なります。

● サスティンをかけてみよう

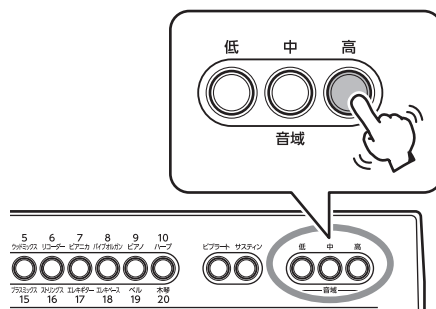


音色に余韻が加わります。ピアノのダンパーペダルを踏んだときのような効果が得られます。



- ・サスティンボタンを1度押すと押し込まれた状態になって「オン」、もう一度押すと「オフ」になります。
- ・サスティンがかかっているとき1度に多くの鍵盤を弾くと、最初に弾いた音が途切れることがあります。

● 音域を切り替えてみよう



演奏できる音域が切り替わります。演奏するパートの音域に合わせて選んでください。



- ・何もボタンが押されていないときは、「中」が選ばれます。

電源アダプタを使って演奏してみよう

本機は、電源アダプタから電源を供給しながら使用することもできます。



- ・接続方法は、11ページ「充電のしかた」を参照してください。
- ・電源アダプタを使用すると、内蔵バッテリーの消耗を最小限に抑えられます。

1 電源スイッチを切った状態で電源アダプタを接続します。

電源アダプタを接続すると、アダプタランプ、充電中ランプが点灯します。

2 電源スイッチを入れます。

充電中ランプ、残量ランプは消灯し、アダプタランプ、音色グループ切替ランプが点灯します。

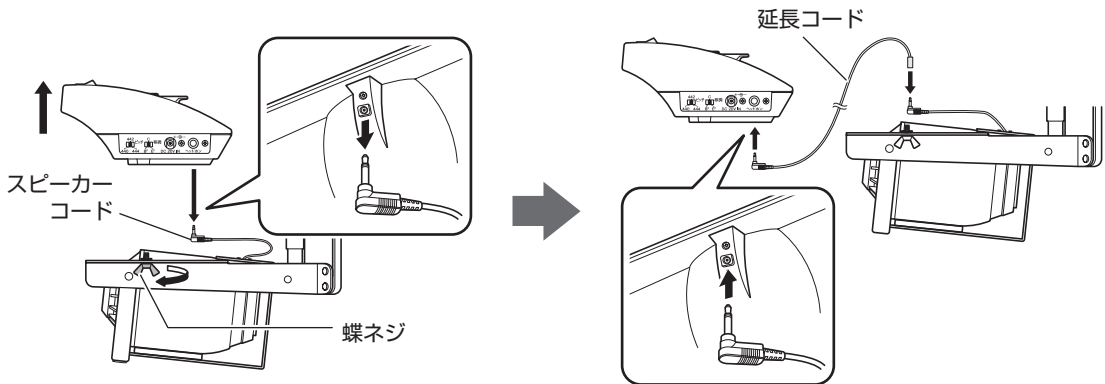
3 以降の操作方法は、13ページ「演奏してみよう」の手順2以降と同じです。



- ・電源アダプタを使って演奏しているときは、充電はされません。

このような使い方もあります

ホルダー下部からキーボード本体を取り外し、市販の延長コード(モノラルミニプラグ(φ3.5)用)を使用すると、キーボードを机の上に置いて使用することができます。



1 左右の蝶ネジを緩めてキーボード本体をホルダーから外し、スピーカーコードのプラグを外します。

2 延長コードを介して、キーボード本体とスピーカーを接続します。



- ・元の状態に戻すときは、取り外した手順を逆に行ないます。



- ・キーボード本体とスピーカーを接続するコードは、引っ張ったり物をぶらさげたりしないでください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	解決方法
電源が入らない	内蔵バッテリーをご使用の場合： バッテリーが消耗しているため。	内蔵バッテリーを充電してください。(11ページ参照)
	電源アダプタをご使用の場合： コードやプラグが正しく接続されていないため。	コードを正しく接続してください。(11ページ参照)
音が出ない	スピーカーコードのプラグが抜けているため。	スピーカーコードのプラグを接続してください。
内蔵バッテリーでの使用時間が極端に短くなった	浅い充電、放電を何度も繰り返したため。	完全に放電(残量ランプ(赤色)が消えるまで使用)をしてから、完全に充電(充電中ランプが消えるまで)してください。これを数回繰り返すと解消できます。それでも直らない場合は、内蔵バッテリーの寿命なので、ヤマハ修理ご相談センターで、電池の交換をしてください。
押した鍵盤と違う音程で鳴る	移調スイッチが、「C」以外のところにセットされているため。	移調スイッチを「C」にセットしてください。(6ページ参照)
他の楽器とピッチが合わない	ピッチ切替スイッチが合っていないため。	ピッチ切替スイッチで他の楽器とピッチを合わせてください。(6ページ参照)

仕様

コントロール	鍵盤：ミニ鍵盤37鍵 音域切替：3段階(上下1オクターブ) 音量：1～7目盛 効果：ビブラート, サスティン ピッチ：440/442/444Hz 移調：B♭/C/E♭
入出力端子	ヘッドホン出力端子：ステレオ標準ジャック 電源アダプタ接続端子：DC 20V
発音	発音音域：B♭0～E♭6 最大同時発音数：32音 音色数：20音色 音色名：フルート, オーボエ, クラリネット, サクソフォン, ウッドミックス, リコーダー, ピアノカ, パイプオルガン, ピアノ, ハープ, トランペット, ホルン, トロンボーン, チューバ, プラスミックス, スtringス, エレキギター, エレキベース, ベル, 木琴
表示部	アダプタランプ：赤×1 充電中ランプ：赤×1 残量ランプ：赤×1, 緑×3 音色グループランプ：赤×2
パワーアンプ	定格出力：7W
スピーカー	定格入力：10W 口径：130mm 定格負荷：8Ω
電源	電源アダプタ (PA-Y20)：定格出力20V/2A 内蔵バッテリー：定格容量12V/1500mAh
消費電力	電源アダプタ使用時：6.6W 内蔵バッテリー使用時：5.3W
寸法・本体重量 ※キーボードを最も前に、 ホルダー上部を最も高い 位置に、肩掛けを垂直に 立てた状態	●ホルダー Mサイズの場合 間口：480mm 奥行：541mm 高さ：581mm 重量：4.0kg(付属品は除く) ●ホルダー Sサイズの場合 間口：480mm 奥行：491mm 高さ：565mm 重量：3.9kg(付属品は除く)
その他	キーボード前後可動寸法：70mm ホルダー上部可動寸法：150mm

保証とアフターサービスについて

● 保証

保証期間は、保証書の裏面に記載により、お買い上げ日から満1カ年です。ただし、現金、クレジットなどによる区別は一切いたしません。また、保証は日本国内でのみ有効といたします。

● 保証書

保証書をお受け取りのときは、お客様のご住所、お名前、お買い上げの年月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

● 保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客様に、保証規定にのっとりご購入の日から向こう1カ年の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと、保証期間中であっても実費を頂戴させていただきます場合があります。

万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように、充分ご配慮のうえ保管してください。また、保証期間が切れましても、お捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など、便利にご利用いただけます。

● 保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合は、直接お買い上げ店か、下記のヤマハ修理ご相談センターにお持ち込みください。責任を持って修理調整いたします。なお、保証書は必ず一緒にお持ちください。

● 保証期間後のサービス

満1カ年の保証期間が切れますと、サービスは有料となりますが、引き続き責任を持ってサービスさせていただきます。

なお、補修用性能部品(製品本来の性能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打切り後最低8年となっております。

● サービスをご依頼になる前に

ご使用中に「故障ではないか?」と思われましたら、まず本書16ページの「故障かな?と思ったら」を一度お読みいただき、お確かめください。なお、サービスをご依頼されるときは、楽器の様子を詳しくお知らせください。

ヤマハミュージックトレーディング株式会社

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:00（祝日およびセンター指定休日を除く）

本社/東日本営業所	〒103-0014	東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-5	ヒューリック蛸殻町ビル 7階	TEL 03-5641-1083
北海道駐在	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1-1-50	ヤマハセンター内	TEL 011-512-6121
仙台駐在	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10		TEL 022-222-6215
中日本営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28		TEL 052-201-5167
西日本営業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9	心斎橋プラザビル東館	TEL 06-6252-5278
九州駐在	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4		TEL 092-472-2172

◆ 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

- ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話、PHS、IP電話からは TEL 053-460-4830

- 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:00、土曜日 9:00～17:00（祝日およびセンター指定休日を除く）
- FAX：053-463-1127

◆ 修理品お持込み窓口

- 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:45（祝日および弊社休業日を除く）
- * お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50	ヤマハセンター内	FAX 011-512-6109
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1-1		
		京浜トラックターミナル内 14号棟A-5F		FAX 03-5762-2125
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2丁目1-2	ヤマハ(株)名古屋倉庫3F	FAX 052-652-0043
大阪サービスセンター	〒564-0052	吹田市広芝町10-28	オーク江坂ビルディング2F	FAX 06-6330-5535
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2丁目11-4		FAX 092-472-2137

*名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。